

2020年9月14日

三井物産株式会社
パナソニック株式会社
凸版印刷株式会社
株式会社博報堂
西日本旅客鉄道株式会社
万博記念公園マネジメント・パートナーズ

万博記念公園での自動運転車両を活用した次世代型モビリティサービス実証 「(仮称) EXPO オートライド&ガイド」の共同実施

三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：安永竜夫、以下「三井物産」）、パナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、社長：津賀一宏、以下「パナソニック」）、凸版印刷株式会社（本社：東京都千代田区、社長：磨秀晴、以下「凸版印刷」）、株式会社博報堂（本社：東京都港区、社長：水島正幸、以下「博報堂」）、西日本旅客鉄道株式会社（本社：大阪府大阪市北区、社長：長谷川一明、以下「JR 西日本」）は、万博記念公園マネジメント・パートナーズ（以下、「BMP」）と共に、万博記念公園（大阪府吹田市）にて、自動運転車両を活用した次世代型モビリティサービスの実証試験を共同で実施致します。

国内外で走行実績のある小型自動運転EV（BOLDLY株式会社が提供する仏NAVYA製ARMA）に、パナソニックが開発中の透明ディスプレイを搭載し、透過して見える公園や庭園の風景と、ディスプレイに映し出される対話型アバターや多言語対応型アバターによるガイドダンス映像を折り重ねて見ながら移動することで、楽しみながら学べるエデュテイメント（エデュケーション+エンターテイメント）を新たな移動体験型サービスとして提供します。

当初は、今年50周年となる1970年万博の開催期間に合わせ、本年9月の実施予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を受けて延期を決定、その後の検討結果、今般、本年10月23日（金）より実施することで合意、決定し、1970年万博の終了翌日となる本日、正式発表の運びとなりました。

本実証により、1970年万博や万博記念公園の持つ魅力や潜在価値を引き出し、万博記念公園の更なる活性化の実現可能性を検証し、本サービスの実装を目指します。また、2025年大阪・関西万博の機運醸成に寄与することも目指しております。

記

1. 実証期間：2020年10月23日（金）から11月16日（月）の金、土、日、月、計16日

2. 走行ルート：

①パビリオンルート

1970年万博のパビリオン跡地を巡りながら、対話型アバターにより、50年間の進歩と調和の変遷、そして2025年万博の未来も垣間見られるタイムマシン型エデュテイメントモビリティ

②日本庭園ルート

公園内の日本庭園を題材とし、多言語対応型アバターにより、その背景にある歴史や文化を、ストーリー性あるガイドダンスで楽しく学べるエデュテイメントモビリティ

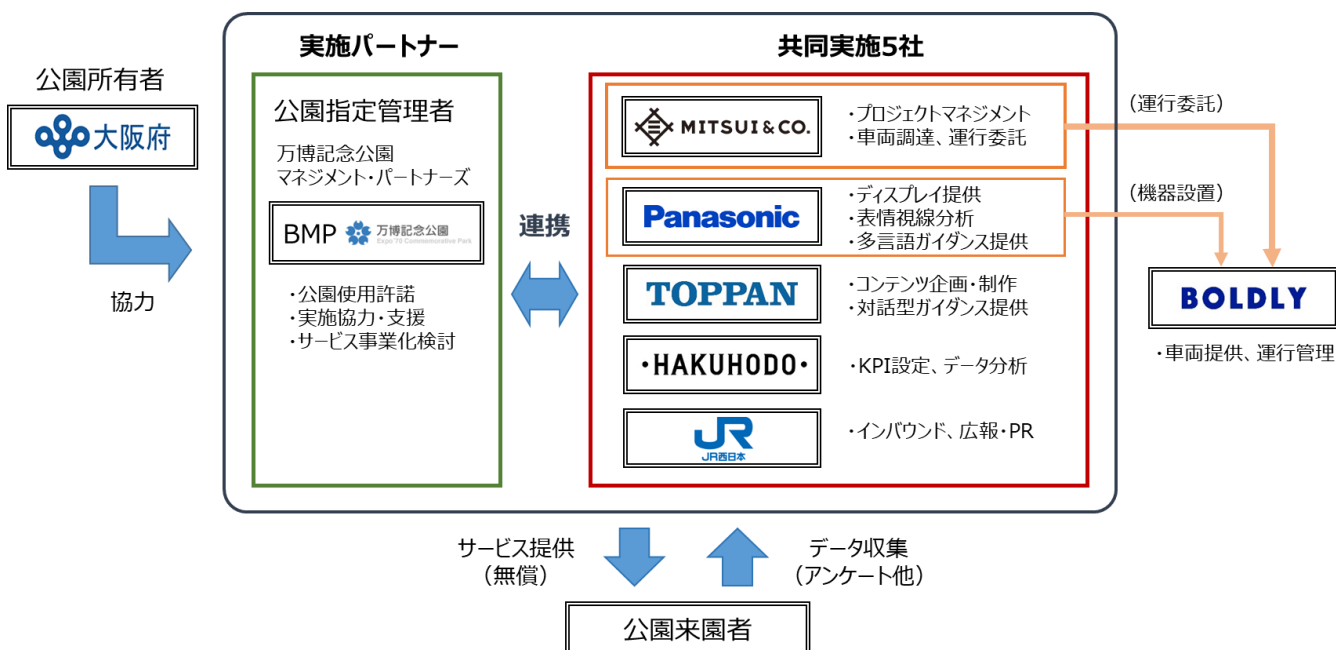
ルート	パビリオンルート	日本庭園ルート
乗車時間	約 20 分	約 30 分
アバター	対話型	多言語型（日英中韓選択）
日程 （各週の金土日月）	第 1 週：10/23～10/26	第 2 週：10/30～11/02
	第 4 週：11/13～11/16	第 3 週：11/06～11/09

3. 乗車方法：実施各日に同日分の整理券を配布予定

詳細は 10 月 5 日（月）に万博記念公園の公式ホームページ内
「お知らせ」に掲載予定 <https://www.expo70-park.jp/>

尚、上記の予定・内容は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、今後も予告なく変更・見直しとなる可能性がございますこと、悪しからずご了承願います。

【スキーム図】



【利用予定車両】



【搭載ディスプレイ(車両内搭載イメージ)】



以上